

“防水”“防塵”対策だけでは、“結露”による故障から電気設備機器を守ることができません!

電気機器設備用 結露防止シート

G-ブレス

結露は夏には冷たい飲み物入ったコップに、冬には寒い外から暖かい部屋に入った際にメガネが曇るように、1年中温度差により発生します。特に空調機器を設置していない電気機器や電気設備の内部には周囲との温度変動差により結露が発生し、絶縁不良や錆を発生させトラブルを起こしたり漏電による火災発生のおそれもあるため、その対策は喫緊の課題です。NTT-ATの結露防止シート「G-ブレス」は、調湿特性にすぐれた特殊な材料*1が設備の結露を防ぎ、トラブルを未然に防止する高性能な設備保全アイテムです。さらに電力を使用せずRoHS指令にも適合した環境にやさしいエコロジーな製品です。



POINT 1 驚異の調湿機能で結露をシャットアウト!

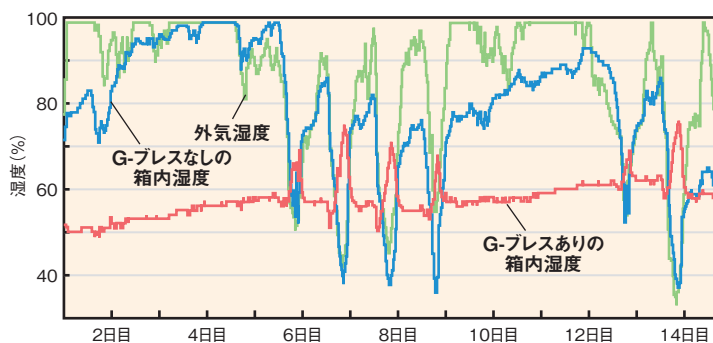
調湿機能にすぐれた特殊な材料*1が湿気を吸放湿することで一定の湿度を維持し、結露を防止します。当社での屋外試験(右図)では、G-ブレスなしの箱内湿度(青)が外気湿度(緑)に応じて変化するのに対し、G-ブレスありの箱内湿度(赤)は、常に一定範囲の湿度を維持しています。

G-ブレス



G-ブレスの湿度測定試験

- 【測定条件】
- 試験用の箱容積: 13.9リットル(底部にΦ5mmの通気孔有)
 - 蓋にG-ブレス(はがきサイズ)設置
 - 測定場所: 東京都内
 - 測定期間: 2週間



POINT 2 高寿命&メンテナンスフリー

従来のシリカゲル等の防湿剤は一定量の水分を吸収すると性能が急激に低下してしまうのに対し、G-ブレスは湿気を“呼吸”することで適正湿度を保つため、長期間*2にわたって性能を維持します。また電力不要なエコロジー商品で施工後のメンテナンスも不要なため、管理の手間やコストも低減します。

POINT 3 施工場所を問わない汎用性

G-ブレスは薄く軽いシート状のため、わずかなスペースや曲面などにも簡単に貼ることができます。施工する箱の容積に合わせ、名刺サイズから大小4種類のサイズをご用意しています。



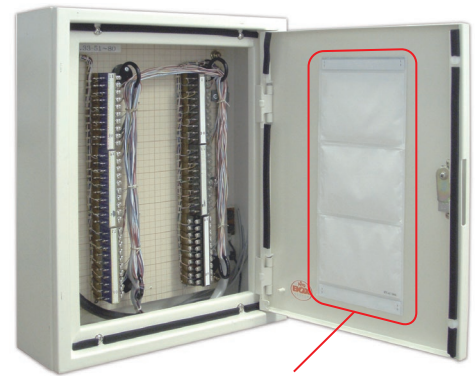
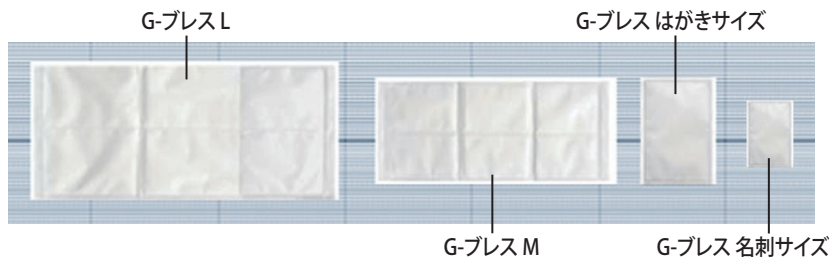
G-ブレス本体

*1 シリカゲルよりも吸湿・放湿能力が高く、通信設備に導入するための長期信頼性試験に合格した材料。

*2 通信インフラ会社で約10年間にわたって性能を維持している実績があります。(使用可能期間は設置する躯体の構造や環境条件により変化します。)

NTTインフラ設備において、結露が原因の故障の対策として150万個以上の実績のある調湿材を、さらに機能UPさせたG-ブレスは、その高い調湿機能と長寿命で、多くのお客様からご支持いただいています。

サイズラインナップと施工例



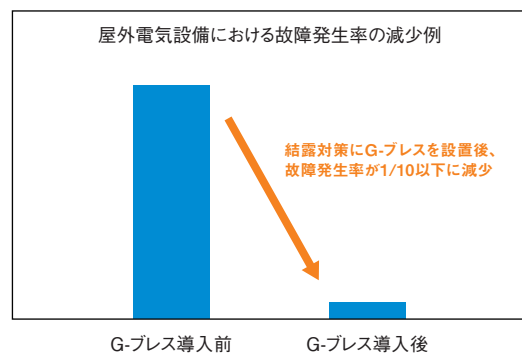
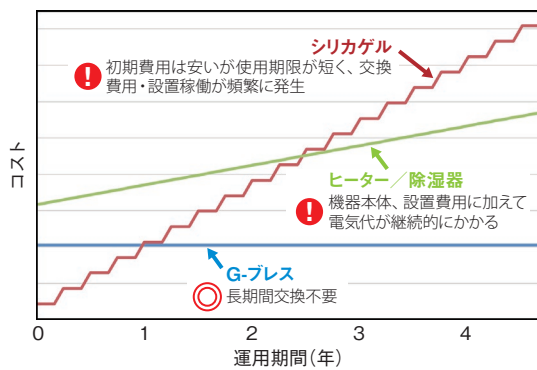
通信専用端子盤へのG-ブレス施工例

●導入実績
NTT通信設備/ドアホン/配電盤/制御盤/製造装置/レーダー
/監視カメラ/船舶/モニタリングセンサー/光学機器/M2M機器
/建築設備/食品製造設備 他

| 品名 | サイズ(mm) | 重さ(g) | 適用容積(L)/枚* | 販売単位(枚) |
|-------------|-----------|-------|------------|---------|
| G-ブレスL | 560×230×3 | 130 | 400 | 5枚 |
| G-ブレスM | 370×150×3 | 50 | 150 | 10枚 |
| G-ブレスはがきサイズ | 100×148×1 | 10 | 25 | 30枚 |
| G-ブレス名刺サイズ | 55×91×1 | 3 | 7 | 30枚 |

※ 適用容積は環境条件により変化します。

他製品とのコスト比較と導入効果



※ 導入する設備の構造や環境条件によって効果は異なります。

適用例と使用上の注意

- ・電気機器内の結露による絶縁不良や絶縁劣化の防止対策に
- ・電力を必要とする空調機器が設置できない場所の結露対策に
- ・工場内の温湿度変動が大きい場所での結露対策に
- ・屋外に設置された収納庫や物置きなどの結露やカビ対策に
- ・容易に機器・設備の保守作業ができない場所の結露対策に
- ・設備機器の延命対策に
- ・湿気の影響を受けやすい楽器や美術品等の保管に
- ・その他、さまざまな場面でご利用いただけます。

【使用上の注意】

- ・本品を施工する箱に浸水のおそれがある場合は、その防止措置を施してからご使用ください。
- ・適用容積は密閉空間での使用目安です。環境条件により異なります。
- ・本品は機器類の故障防止を保証するものではありません。

※ 記載された会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。
※ 本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。
※ カタログ記載内容 2018年8月現在

D201808B

E-mail: g-sales@ml.ntt-at.co.jp

お問い合わせ先

<http://www.ntt-at.co.jp/product/g-breathe/>

NTTアドバンステクノロジー株式会社